シーズの名称

New

電界撹拌方法及び電界撹拌用キャップカバー

シーズの特性

権利等の種類 特許

権利状態 他者との共有

実施許諾実績 あり 現状(段階)

研究開発

特許権の譲渡 不可

活用が期待される分野

医療用

工具 材料 半導体

金型 電子部品

センサ

製造業

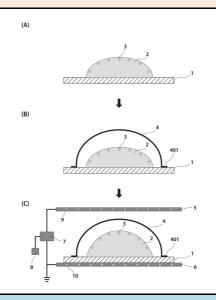
ΙT

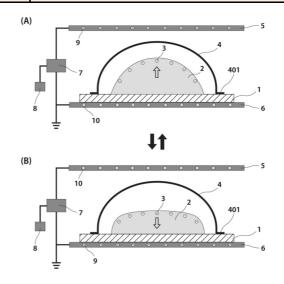
検査装置 表面処理

計測装置

その他

概要図





特徵

- 電界撹拌中の試薬等の蒸散を抑制するためのキャップカバーの技術。
- ・これを用いると、微小量かつ加温雰囲気中において電界撹拌を実施した結果、液滴が蒸散す ることなく長時間の撹拌が可能となった。

独自性

- ・秋田県独自技術である電界撹拌技術は、特に微小量の液滴を電界による吸引力を用いて、非 接触で激しく撹拌することができる技術である。
- これまで課題であった、微小量、加温雰囲気での長時間の電界撹拌で起こりうる、蒸散とクロス コンタミの危険性を本方法によって解決できる。

サポート

共同研究等により支援

特許・ 論文等

- 「電界撹拌方法及び電界撹拌用キャップカバー」(「特許第6781873)
- •Novel method for rapid fluorescence in-situ hybridization of ALK rearrangement using noncontact alternating current electric field mixing, Satoshi Fujishima et al., Scientific Reports 7, Article number: 15116 (2017)
- 電界非接触撹拌技術を応用した迅速免疫組織化学染色装置における液滴蒸散予防の工夫。 星野育ら、精密工学会誌, Vol.84 No.4, pp.383-387.

キーワード

電界撹拌、免疫染色、IHC、ISH、FISH、抗原抗体反応、ハイブリダイゼーション

関連記事等

なし

お問い合わせ先

秋田県産業技術センター 共同研究推進部

TEL: 018-866-5800 Email: soudanshitu@aitc.pref.akita.jp